

製品名: TRPV3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19329**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	TRPV3
別名	TRPV3; Transient receptor potential cation channel subfamily V member 3; TrpV3; Vanilloid receptor-like 3; VRL-3
遺伝子 ID	162514.0
SwissProt ID	Q8NET8
免疫原	ヒト TRPV3 の内部領域から得られた合成ペプチド。

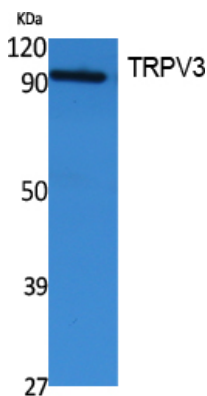
背景

一過性受容体電位カチオンチャンネルサブファミリー V メンバー 3 (TRPV3) ホモサピエンスこの遺伝子産物は、温度感覚や血管調節

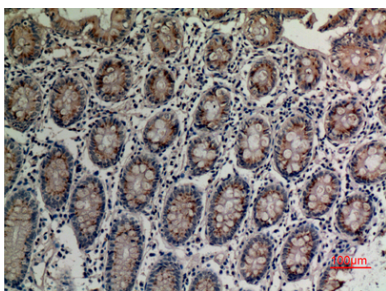
など、さまざまなプロセスで機能する非選択的カチオンチャネルのファミリーに属します。このファミリーの温度感受性メンバーは、皮膚で終結する感覚ニューロンのサブセットで発現し、異なる生理的温度で活性化されます。このチャネルは、22~40°Cの温度で活性化されます。この遺伝子は、17番染色体上の別のファミリーメンバー遺伝子のすぐ近くに位置し、2つのコードされるタンパク質は互いに会合してヘテロ多量体チャネルを形成すると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2012年4月]、機能: 推定受容体活性化非選択的カルシウム透過性カチオンチャネル。無害な(暖かい)温度で活性化され、39°Cを超える有害な温度では応答が増加します。活性化は外向き整流作用を示す。TRPV1と会合し、その活性を調節する可能性がある。類似性: 一過性受容体ファミリーに属する。TrpVサブファミリー。類似性: 3つのANKリピートを含む。サブユニット: TRPV1とヘテロ多量体チャネルを形成する可能性がある。TRPV1と相互作用する。組織特異性: 中枢神経系で豊富に発現する。低レベルで広く発現する。後根神経節で検出される(タンパク質レベル)。

研究分野

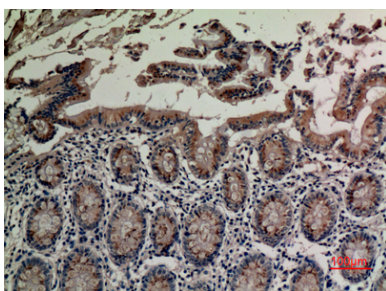
画像データ



TRPV3 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された